

## 認定を受けている課程を有する専攻等の教員養成に対する理念及び設置の趣旨等

令和2年4月1日更新

- 総合人文社会科学部総合人文社会科学専攻人間文化学分野（中専免（社会）（国語）（英語）・高専免（地理歴史）（公民）（国語）（英語））

### 教員養成に対する理念・構想

総合人文社会科学部では、その設置理念に示すように幅広い知的能力や行動力、そして高い倫理観を備える質の高い地域中核人材の養成をその目標としている。また、これらの実現を目指す教育活動設置理念には「持続可能な価値社会の創造」を掲げている。これらの理念を実現するためには、高い学識と研究能力の不断の錬磨を行うだけでなく、それらを次世代に継承し、地域社会や人間文化の継続的な発展へとつなげられる教育者養成の営みを欠かすことができない。

この視座に立ち、本研究科における人間文化学分野では、人文科学の幅広い学問領域での最新知見に基づくカリキュラム開発や学修指導を行っている。そして、これらの教育活動をもとに、複雑な要因が絡み合った地域社会の諸課題を分析・解明して具体的な解決へつなげる能力を持った人材育成に対応でき、専門性と人文科学的素養を具備した優れた教育者養成を目指して教職課程を設置する。

### 教職課程の設置趣旨

#### 中専免（社会）、高専免（地理歴史）（公民）

本分野の中でも、哲学思想研究や社会情報研究、歴史研究などの教育研究領域においては、人間が築き上げてきた思想や社会、そしてその総体としての歴史や文化に関わる深い考察と史料の批判的分析と実証的調査活動を通して、複雑化する現代社会に自分の道を切り拓くことができる深い洞察力と論理的思考力を身につける教育活動が展開されている。これらの学術的な研鑽を通して、単に人文学的な専門素養を深く有するだけでなく、人間としてのあり方・生き方についての自覚をもった公民としての資質を備え、現代の国際社会や高度情報化社会で主体的な活躍の場を求める個性、もしくは地方の創生を担うに足る先導的な個性を養成しうる教育人材を育成することを目的として、中学校教諭専修免許状（社会）、高等学校教諭専修免許状（公民、地理歴史）取得に対応する教職課程を設置する。

#### 中専免（国語）、高専免（国語）

日本語学、日本文学、日本語教育学を専門とする教育研究領域においては、古代から現代に至る日本の言語のしくみや性格を専門的に明らかにする研究活動や、その豊かな文学表現やそこに見られる知の体系、さらには出版文化に多面的にアプローチする研究活動が行われている。これらを通して、国語や日本文学に関する広範で専門的な知識を涵養するだけでなく、批判的思考力と論理的表現力、主体的に課題に取り組む力を自ら備えつつ、それを次世代に教育できる有為な人材を養成することを目的として、中学校教諭専修免許状（国語）、高等学校専修免許状（国語）に対応する教職課程を設置する。

#### 中専免（英語）、高専免（英語）

英語学、英語文学を専門とする教育研究領域においては、英語を言語としてとらえるだけでなく、文化の言語媒体や文芸創造ツール、国際社会を結ぶツールといった多様な側面からアプローチし、専門的な観点から問題の発見・分析能力を高める教育を展開している。これらを通して世界言語としての英語や英語圏の文化に対する深い洞察力と、問題の発見分析能力を深化させ、さらに主体的で積極的なコミュニケーションを促進できる高度な能力の育成が実現される。こうした英語を通じた知的営為と人文科学的素養を次世代に教育できる人材を養成することを目的として、中学校教諭専修免許状（英語）、高等学校専修免許状（英語）に対応する教職課程を設置する。

- 教育学部高度教職実践専攻（幼専免・小専免・中専免（国語）（社会）（数学）（理科）（音楽）（美術））

(保健体育)(技術)(家庭)(英語)・高専免(国語)(地理歴史)(公民)(数学)(理科)(音楽)(美術)(工芸)(書道)(保健体育)(家庭)(英語)・特支専免(知・肢・病)

### 教員養成に対する理念・構想

高度教職実践専攻は、「俯瞰力と独創性を備え、持続可能な価値社会を創造する質の高い高度専門職業人」の育成という信州大学大学院学位授与の方針の理念にのっとり、学校と家庭・地域社会の創造的な再構築の担い手として、次世代の人材を育成する資質と能力を備えた高度専門職としての教員の養成を目的とする。

具体的には、次のような資質・能力を有する教員を養成する。

- 教育の専門職としての学識・技能
- 教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点
- 協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力
- 既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力
- 社会の一員である教員として生きる意志と倫理観

### 教職課程の設置趣旨

高度教職実践専攻が養成を目指す教員の資質能力は、一つには児童生徒に関する基礎的知識や技能の確実な習得に加えて、思考力・判断力・表現力等を育成する学びをデザインできる実践的指導力や、社会の変化に伴う新たな課題に柔軟に対応できる広い視野をもった高度専門職業人としての力である。

もう一つは、様々な課題に対して学校現場でリーダーとして問題の解決を図る、いわゆるスクールリーダーとしての資質能力であり、学校課題に即してチームの中で他の教員を指導できる力やマネジメント能力である。この資質能力は、主に現職教員を念頭に考えており、自らの職業生活への関わり直し(re-engagement)を通して、教育現場(学校)と、それを取り巻く家庭や地域社会と、そこに関わってゆく教師としての自己との新たな関係を創造的に再構築しようとする人材の育成を意味するものである。

これに対応して、本専攻では以下のコースを設定している。

- 高度教職開発コース(現職院生向け)

勤務校におけるチームの実践的課題に焦点を当て、その課題解決のための探究活動に取り組む演習を中心に据える。チームの中で自分が果たすべき役割を客観的に把握して自己努力することに加え、チームとして教職員がどのように戦略を立て、分担して外部の教育力を活用しながら課題解決に向かうべきか等をケースに即して実践的に取り組むものとする。

- 教職基盤形成コース(学部卒院生向け)

教育課題を学校現場の実情に即して捉え直す機会として、高度教職開発コースの院生と共に協働で問題解決を図る演習に参画する。また、それぞれの課題について先行研究をレビューして整理したレポートをカンファレンスに提出する等の役割を担うものとする。これらは、拠点校における個別具体的な課題をモチーフとしたケースメソッドを抽出する実践的演習となる点が特色である。

## ● 総合理工学研究科 理学専攻(中専免(数学)(理科)・高専免(数学)(理科))

### 教員養成に対する理念・構想

理学専攻は、前項の教育理念を掲げ、教職に対する強い情熱と使命感、および教育の専門家としての確かな力量をもち、さらに幅広い見識と健全な倫理観を備えた教育人を養成する。理学専攻の学位授与方針では「専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力」をうたっており、さまざまな課題に対処できる優れた中高教員を育成することは理学専攻の重要な構想の一つとして位置づけている。

### 教職課程の設置趣旨

教員養成に対する理念・構想に基づき、総合理工学研究科および理学専攻の多様な学問領域と専門領域の特色を生かして、将来の教育を担う優れた人材を養成するために教職課程を設置する。

#### 中専免（数学）、高専免（数学）

理学専攻では、数学分野を中心に数学・自然情報学の専門知識や、論理的思考力・問題解決力・柔軟な発想力などの基礎能力を身につけさせるとともに、豊かな人間性・社会性をはぐくんでいる。このような教育を通して、将来の教育を担う人間味あふれた数学教員を養成するために、教職課程を設置する。

#### 中専免（理科）、高専免（理科）

理学専攻では、理科学分野を中心に物理学、化学、地球学、生物学、物質循環学に関する専門知識や、論理的思考力・問題解決力・柔軟な発想力などの基礎能力を身につけさせるとともに、幅広い見識や健全な倫理観をはぐくんでいる。このような教育を通して、将来の教育を担う人間味あふれた理科教員を養成するために、教職課程を設置する。

### ● 総合理工学研究科 工学専攻（中専免（理科）・高専免（理科）（情報）（工業））

#### 教員養成に対する理念・構想

工学専攻は、前項の教育理念を掲げ、科学技術と環境保全の調和に関心を持ち、学際的技術の研究開発や国際化に対応できる高度な技術者の育成、エネルギー複合材料科学分野などの学際的先端科学技術を開拓できる能力を有し、環境マインドを持った先導的な人材を育成する。教員養成においては、上記の理念ならびに養成する人材像をもとに、理科・情報・工業に関する専門的な知識、実験・演習で身に付けるエンジニアとしての技量に加えて、広い見識と倫理観、技術者精神を涵養し、教職に対する粘り強い情熱と使命感、教育に携わるための確かな力量、総合的な豊かな人間性を備えた明日の教育を担う人材を養成することを目指す。

#### 教職課程の設置趣旨

理工系人材の育成において、専門分野の高度な専門知識に基づく問題分析・課題解決能力、さらに他分野の課題にも応用発展させることができる応用力が不可欠である。さらに、科学技術の発展・イノベーションにおいては、様々な分野が複雑に絡む複合的技術分野が生まれており、技術の進展に加えて新しいものの見方、感性が必要となってきた。

教職課程においては1専攻が1教科に対応するものではなくすべての分野が、相互に協力・互いに補完する形をとり、教職をめざす学生に対して、各専攻における専門知識の修得に加え、教職支援センター（教職教育部）における教育によって教員としての専門的な知識・技能、使命感や責任感等を身につけさせ、教員の職務を支障なく実践できる資質能力を養成する。工学を俯瞰して見ることのできる能力をもつ人材の養成、「イノベーションの核となる理工系人材」や「ものづくりの楽しさ・大切さを伝えることのできる理工系人材」を育成できる工学的センスを兼ね備えた教員の養成を目指す。

#### 中専免（理科）、高専免（理科）

物質化学分野、機械システム工学分野、水環境・土木工学分野を中心に物理・化学・環境科学をはじめとした科学の基礎と応用に関する広範かつ専門的知識・技術を体系的に修得し、教職支援センターにおける教員としての専門的な知識・技能、使命感や責任感等を身につける教育を通じて、科学技術に対する情熱にあふれ、「理科が好き」な生徒を発掘・育成できる理科教員を養成するための教職課程を設置する。

#### 高専免（情報）

電子情報システム工学分野を中心に、情報科学、ソフトウェア工学、画像・パターン解析・最適化理論、情報デバイス・センサ処理、ネットワーク・セキュリティなどの教科に関連する科目の修得、教職支援センターにおける教員としての専門的な知識・技能、使命感や責任感等を身につける教育を通じて、情報社会及

び情報倫理の情報関連工学の専門知識の豊かな情報教員を養成するための教職課程を設置する。

#### 高専免（工業）

物質化学，電子情報システム工学，水環境・土木工学，機械システム工学，建築学分野を中心に，関連する専門知識と経験の修得，現代社会の基盤形成に工業が果たしている役割の深い理解，自然環境との調和と共生の必要性の認識した工業教員を養成するための教職課程を設置する。

### ● 総合理工学研究科 繊維学専攻（中専免（理科）・高専免（理科）（工業））

#### 教員養成に対する理念・構想

繊維学専攻は，信州大学の理念に基づき，学部からの6年一貫教育を踏まえた分野編成，カリキュラム構成となっており，教員養成においても，4つの分野において，学部からの継続性を考慮し，「理科」または「工業」の教員を養成する。衣・食・住の要である“繊維”に根ざした繊維学領域において，それぞれの分野の特徴である先進繊維工学・感性工学，工学と生物との融合，化学と材料に基盤を置く「ものづくり」及び応用生物科学を基盤とした専門知識の修得はもとより，広い見識と健全な倫理観，教職に対する粘り強い情熱，確かな力量と総合的な人間性を備えた明日の教育を担う人材を養成することを目指している。

#### 教職課程の設置趣旨

繊維学専攻では，信州大学の教員養成に対する理念・構想に基づき，学部からの6年一貫教育を踏まえた分野編成，カリキュラム構成となっており，衣・食・住の要である“繊維”に根ざした伝統的な科学技術を背景として，学際的前端技術のさらなる展開を図り，21世紀における文化創造科学技術を開拓するとともに，優れた人格と国際性を有し，未来を創造しうる，広い視野と高い能力を持つ人材を養成する。この特色を生かした多様な学問領域・専門分野を通じてはぐくまれる有意な教育人を養成するために，繊維・感性工学分野，機械・ロボット学分野，化学・材料分野，応用生物科学分野の4つの分野において教職課程を設置する。

なお，繊維学専攻においては，各分野が“繊維”を軸として有機的につながっている。教職課程においては1専攻が1教科に対応するものではなく，各分野が相互に協力・互いに補完する形をとり，教職をめざす学生に対して，繊維学を軸とした理工学分野の幅広い視点での学修と深い知識の涵養を促す。

#### 高専免（工業）

先進繊維・感性工学分野（先進繊維工学ユニット），機械・ロボット学分野は，繊維工学，計測学，解析学などのテキスタイル分野，ナノ融合材料，力学，熱工学，流体力学，電子工学などの機械・ロボット学分野が中心となっているため，その複合技術により，新たな科学技術や付加価値の高い工業製品を作り出す高度専門技術を学ぶことにより，基礎能力と高度な専門知識を修得し，問題解決能力，実践力ならびに指導能力を身につけた明日の教育を担う工業教員を養成するための教職課程を設置する。

#### 中専免（理科），高専免（理科）

先進繊維・感性工学分野（感性工学ユニット），化学・材料分野（ファイバー材料工学，応用分子化学の各ユニット），応用生物科学分野は，人間の感性に特化した，生理学，知能情報学，繊維化学などの感性工学分野，化学，材料に基盤を置くものづくりとしての，材料化学，分子化学などの科学・材料分野，生物資源と工学との融合としての，生態学，微生物学，発生生物学，遺伝子機能科学などの応用生物科学分野を学ぶことにより，科学の基礎と応用に関する広範かつ専門的な知識，技術を有し，地球環境や人間に配慮しながら問題解決できる能力を身につけた理科教員を養成するための教職課程を設置する。

### ● 総合理工学研究科 農学専攻（中専免（理科）・高専免（理科）（農業））

#### 教員養成に対する理念・構想

農学専攻は，前項の教育理念を掲げ，自然環境と共生し得る農学の学際的前端領域を開拓し，実践的技術

力及び創造性豊かな研究開発能力を備えた人材を養成する。農学は、生命・食料・環境に関する総合科学であり、人間の営みとその基盤となる自然環境が調和する持続可能な社会を構築するために不可欠な学術分野である。そのため、先端生命科学、食品生命科学、生物資源科学、環境共生学の4つの専門分野を設け、相互に協力しながら自然と人が共生する持続的社会的創造に向けた教育を行うこととした。教員養成においては、それぞれの分野で涵養された専門的知識と豊富な技能を有し、教職に対する強い情熱と使命感を持った教員の養成を目指す。

### **教職課程の設置趣旨**

農学専攻においては、先端生命科学、食品生命科学、生物資源科学、環境共生学の4つの専門分野に応じた分野が設けられているが、1分野が1教科に対応するものではなく、全ての分野が理科と農業の内容を併せ持つ。教職課程においては、生命科学分野の基礎となる生物学、化学、物理学、地学等理科の科目群と、育種、園芸、畜産、環境等農業の専門科目群とに整理し、各教育課程の体系的性を確保・維持するが、内容的には理科の内容が農業の内容を、農業の内容が理科の内容を補完する。4分野が相互に協力しながら自然と人が共生する持続的社会的創造に向けた教育を行い、広く生物を対象に、物質レベルから個体、生態系に至る自然界での生命科学及び農学を幅広い視点で学修し、深い知識の涵養を目指すものである。そのため、中専免（理科）、高専免（理科）、高専免（農業）の教職課程を設置し、生命科学及び農学を基盤とした複合・境界領域の識見を育成する。

#### 中専免（理科）、高専免（理科）

専攻の教育課程においては、生命科学分野の基礎となる生物学、化学、物理学、地学の各科目と近年著しく発展している生命科学に関する専門科目により、生命科学さらには複合・境界領域に関する知識が幅広く学べる。また、実験、演習を含む実践的な教育と信州の豊かな自然を生かしたフィールドワークが充実しているため、座学ばかりではなく自然の中で理科の各分野を学びとることができる。

農学専攻の養成人材像は、前項に記載したように、教員養成、特に、教科ごとの高度な専門知識が必要とされる中学校及び高等学校教員の養成に合致する。教員養成の理念・構想に基づき、生命科学を柱とする新時代の農学の幅広い知識・技術と倫理観に裏打ちされた人間力を育み、洞察力と問題発見・解決能力で諸課題を乗り越える実践力・創造力を兼ね備え、コミュニケーション能力に優れた教員養成を行うため、中専免（理科）と高専免（理科）の教職課程を設置する。

#### 高専免（農業）

専攻の教育課程においては広大なキャンパスと信州の豊かな自然を生かしたフィールドワークを学修することに加えて、実学である農学と生命科学に関する授業の中で農業の関係科目（動物資源生産学、植物資源生産学、生産環境システム学、森林資源利用学、緑地環境保全学）等を幅広く学ぶことができる。

農学専攻の養成人材像は、農学分野の高度な専門知識が必要とされる高等学校の教員養成に合致するものである。教員養成の理念・構想に基づき、農学と生命科学の幅広い知識・技術と倫理観に裏打ちされた人間力を育み、洞察力と問題発見・解決能力で普遍的な物事に対処し、実践する能力とコミュニケーション能力に優れた教員養成を行うため、高専免（農業）の教職課程を設置する。

### ● 総合理工学研究科 生命医工学専攻（中専免（理科）・高専免（理科））

#### **教員養成に対する理念・構想**

生命医工学専攻の教員養成においては、信州大学大学院総合理工学研究科の教育目標を踏まえて、生命工学分野、生体医工学分野の2つの分野において以下のとおり教員養成に対する理念・構想を掲げている。

生命工学分野の教員養成においては、組織工学・細胞工学・遺伝子工学等の専門的技術を有し、かつ医療や福祉などの医学的基盤知識も併せ持つ、境界領域の実践的な生命科学の発展に貢献できる人材の養成を目

指している。そして、これらに必要となる基礎的な工学知識はもとより、広い見識と健全な倫理観、教職に対する粘り強い情熱、使命感と力量、広い視野に立ち豊かな人間性を備えた明日の教育を担う人材を養成することを目指している。

生体医工学分野の教員養成においては、工学・繊維学・農学・理学・医学の学士課程で身につけた基礎的な科学技術の素養に基づき、健康・医療・福祉領域で活躍する高度専門職業人、研究開発者等に必要とされる高度な知識や研究手法を身につけることを目指している。そして、これらに必要となる基礎的な工学知識はもとより、広い見識と健全な倫理観、教職に対する粘り強い情熱、使命感と力量、広い視野に立ち豊かな人間性を備えた明日の教育を担う人材を養成することを目指している。

#### **教職課程の設置趣旨**

生命医工学専攻では、総合理工学研究科の教員養成に対する理念・構想に基づき、医工学の特色を生かした多様な学問領域・専門分野を通じてはぐくまれる有意な教育人を養成するために、生命工学分野、生体医工学分野の2つの分野において教職課程を設置する。

#### 中専免（理科）、高専免（理科）

本専攻は、教員養成に対する理念・構想に基づいて、問題解決能力、実践力ならびに指導能力を身につけた明日の教育を担う人材を養成することを目指し、開放制教員養成の原則を踏まえて、教職志望の学生に教職課程を履修する機会を可能な限り与えるため、理工系教育教員の養成を目的とした教職課程を設置する。具体的には、生命工学分野は組織工学、分子細胞生物学、遺伝子工学などの科学技術を医療や福祉などの医学的基盤知識と統合して境界領域の実践的な生命科学の発展に貢献できる高度専門職業人の育成を目的とし、生体医工学分野はロボット工学、バイオメカニクス学、生体材料学などの科学技術を医学的基盤知識と統合して医療福祉分野における製品開発に貢献できる高度専門職業人の育成を目的としている。また、教育課程も理工系分野を中心としており、当該分野学生は「理科」の教員としての資質及び教科に関する能力が高いと思われるため、中専免（理科）及び高専免（理科）の教職課程を設置する。